

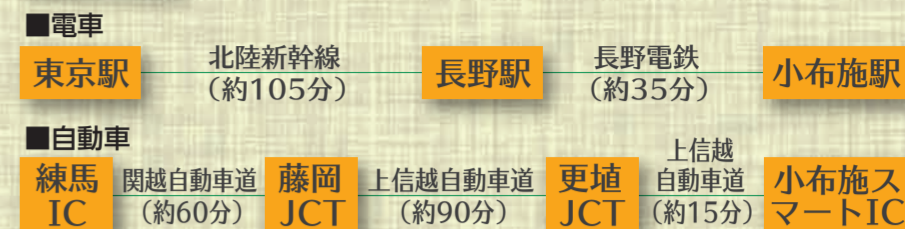


さあ、行こう！ 小布施へ



長野県北部に位置する小布施町。栗をはじめとする豊かな自然の恵みや、四季折々を彩る花が魅力の町です。江戸時代には、交通と経済の要所として栄え、小布施の魅力に引き付けられた葛飾北斎も、ここで多くの作品を残しています。花、自然の恵み、歴史、そして小布施に住む方々のおもてなしの心に、あなたも触れてみませんか。
【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223

アクセス



花と人のおもてなし



「花のまちづくり」は、小布施の人が大切に「町を愛する心」と「お客様をおもてなしする心」から生まれました。心を込めて作られた庭では、訪れるたびに移りかわる花の景色を楽しむことができます。また、春には千曲川沿いの桜と菜の花が競い合うように咲く絶景も楽しめます。

1 桜づつみ

例年、菜の花は4月下旬ごろ、桜づつみは4月末～5月上旬に見ごろを迎えます。



オープンガーデン

花を通して人と人との交流を深め、豊かな生活文化を築くことを目的とし、平成12年に始まったオープンガーデン。今では約120軒もの個人宅や店舗等のお庭を自由に訪問できます。ここでは、オーナーからの温かいメッセージをご紹介します。

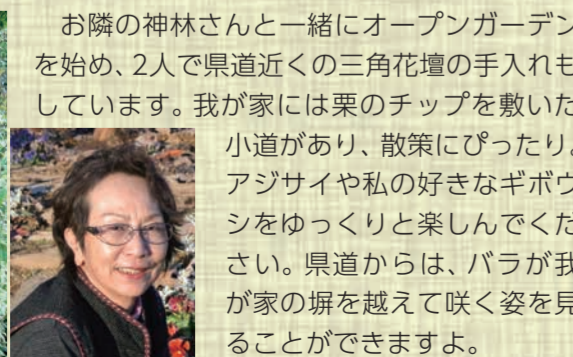
2 関谷 つき子さん宅 小布施町東町173-3

屋根に届くほどの大きなツルバラが自慢です。自宅の地下に溜めた雨水を草花への散水に使っていますが、それでも足りなくなるほどたくさんのお客さんが来てくださるのがとてもうれしいですね。

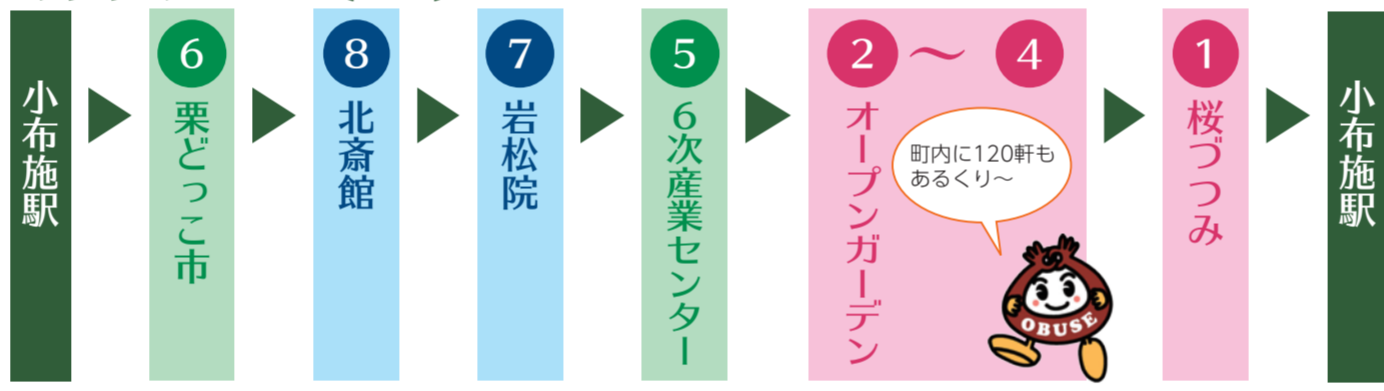


3 込山 恭子さん宅 小布施町飯田387

お隣の神林さんと一緒にオープンガーデンを始め、2人で県道近くの三角花壇の手入れもしています。我が家には栗のチップを敷いた小道があり、散歩にぴったり。アジサイや私の好きなギボウシをゆっくりと楽しんでください。県道からは、バラが我が家の塀を越えて咲く姿を見ることができますよ。



おすすめコース(1日)



4 跡部 由美子さんアトリエ 小布施町北岡下り74-1

ルピナスやジギタリスが好きですが、キウイやナイアガラのぶどうなど実がなるものほかに、レディースマントルといったハーブも育て、今では300種類を超えました。どんなときも、花の手入れをしていると元気が湧いてきますね。予約制ですが、ガーデンの花を使った押し花体験もできますよ。



CHECK!

「おぶせ」オープンガーデンブック
オープンガーデンの見ごろや場所の詳細は、オープンガーデンブックで紹介しています。
【価格】100円【購入方法】電話で小布施町役場産業振興課商工振興係 ☎026-214-9104へ *郵送可 *小布施町のホームページでも閲覧可

今後のみどころは?

境内アート小布施×苗市
【とき】4月15日(土)・16日(日)【ところ】玄照寺(小布施町大島90)
千曲川ふれあい公園
花まつり
【とき】4月29日(祝)【ところ】千曲川河川公園(小布施町山王島)

北斎が愛したまち

天保年間、葛飾北斎は小布施有数の豪農・豪商の高井鴻山と江戸で出会いました。数年後、鴻山に招かれ、83歳にして初めて小布施へ旅して以降、北斎は4回も小布施を訪れ、数々の作品を描きました。北斎が小布施に残した、晩年の肉筆画を見てみませんか。

7 岩松院 小布施町大字雁田604

岩松院の本堂大間の天井を飾るのが「八方睨み鳳凰図」。21畳敷きの天井に、翼を広げた鳳凰の図で、北斎最晩年の作品です。また、岩松院は小林一茶ゆかりの寺でもあり、境内には一茶が「やせ蛙 まけるな一茶 これにあり」という句を詠んだ蛙合戦の池と、句碑があります。



岩松院「八方睨み鳳凰図」



岩松院仁王門

【拝観時間】▶4月～10月＝午前9時～午後5時 ▶11月＝午前9時～午後4時半 ▶12月～3月＝午前9時半～午後4時【休観日】法要および行事の日 *詳細は問い合わせるか、岩松院のホームページを参照【拝観料】300円 *小学生は100円【問合せ】☎026-247-5504

8 北斎館 小布施町大字小布施485

「北斎館」は小布施町に遺されている数々の北斎作品の散逸を防ぐため、昭和51年に開館しました。肉筆画を中心に、天井絵のある2基の祭屋台、版本や錦絵などを多く所蔵しています。
【開館時間】午前9時～午後5時 *5月～8月は午後6時まで、9月～11月3日は午後5時半まで *入館は閉館の30分前まで【休館日】12月31日【入館料】常設展▶一般＝800円 ▶高校生＝500円 ▶中学生以下＝無料 *特別展開催時の料金は問合せ先へ *障がい者手帳をお持ちの方は半額【問合せ】☎026-247-5206



東町祭屋台



北斎館外観

自然の恵み

小布施では、600年以上前から栗が盛んに栽培されてきました。また、少雨で日照時間が長く、昼夜の寒暖差が大きい気候は果樹栽培に適しており、毎年美味しい果物を味わえます。

チェリーキッス

6月下旬
酸味が強く、調理をするとコクが出るためソースなどに適したさくらんぼ、チェリーキッス(酸栗)が、毎年6月下旬からは「小布施チェリーキッスフェア」として、町内のレストラン等でチェリーキッスを用いたメニューが提供されます。



プラムリーアップル

8月下旬～9月上旬
イギリス生まれの調理用青リンゴ。小布施町では26年以上前から生産されています。毎年9月には「小布施プラムリーフェア」が開催され、町内のレストラン等でプラムリーを用いたピッツアやカレー、デザートなど、多彩なメニューを楽しめます。



小布施栗

9月中旬～10月下旬
江戸時代には、将軍への献上品となるなど、小布施栗は古くから全国に名を馳せてきました。ツヤツヤで今にもはじけそうな小布施栗は、焼き栗のほか、栗おこわや栗ようかん、栗かのことしても有名です。



地元の野菜・果物はココ!

5 6次産業センター(小布施屋) 小布施町大字中松496-1
【営業時間】午前9時～午後5時 *12月～3月は午前9時半～午後4時半【定休日】年末年始、12月～3月のみ木曜日【問合せ】☎026-242-6600



チェリーキッスやプラムリーアップルの加工食品も。

6 栗どっこ市(中央店)北斎館横 小布施町大字小布施811-2
地元で育った露地物の野菜や果物が並ぶ小布施の市です。
【営業時間】3月～12月の午前9時～午後2時半【問合せ】☎026-247-4922

